

## 文化祭から！

《原文のままです》

休みがとれないと言う親にかわり、西袋中の文化祭を見学させていただきました。孫の晴れ姿(笑)をひと目見たら、爽やかな秋晴れの中、少し遠出でもしてみよう……位の気持ちで出かけたのですが。ハマりました。結局、昼食をはさんで帰宅したのは3時半過ぎ、生徒一人一人の真剣さが伝わり、途中で帰る訳にはいけなくなりました。

この子たちは、人を喜ばせるためにどれだけの努力をしたのだろう……と思うと。熱いものがこみ上げてきました。一つ一つの発表を取り上げると、もどかしい所はたくさんありましたが、中学生なりの一生懸命さは十分伝わりました。多感な年頃、「今時の中学生は……。」と眉をひそめられる事もあるようですが、決して“困ったちゃん”ばかりではないと思いました。

プログラムは、生徒主体で進められていたようですが、縁の下の先生方のお力はよく見えました。微笑ましい思いがしました。素敵な秋の一日、ありがとうございました。

文化祭後にいただいた手紙を紹介させていただきました。心温まる手紙をいただいたこと、大変うれしく思います。誠にありがとうございました。

## ◆◆◆松明完成！◆◆◆



10月31日(金)の午後1時から、3年生が松明づくりを行いました。

翠ヶ丘公園内の五老山に本校の松明を設置しました。

8日(土)が松明あかしの当日となります。本校からは応援団を中心に参加します。

6時30分に大松明が点火された後、本校の松明には、前生徒会長の小林くん(3年)が点火する予定になっています。

## ◆◆◆ジュニアオリンピック陸上大会◆◆◆

1日(土)2日(日)の2日間、横浜市の日産スタジアムにおいて、ジュニアオリンピック陸上競技大会が開催されました。

本校からは、昨年に引き続き佐藤皓人くんが男子砲丸投に出場し、15m01(自己新記録)の投てきで見事に5位入賞を果たしました。全国大会で2年連続の入賞はすばらしい快挙となりました。

また、今回のポスターやパンフレットの表紙に昨年度の皓人くんの写真が使われており、本人も驚いていました。



## 《西中生の活躍》

- ◎ジュニアオリンピック陸上大会  
砲丸投 5位 佐藤 皓人(15m01)※自新
- ◎須賀川市民体育祭  
・バレーボール中学好 3位 西袋中A, B  
・卓球中学2年女子シングルス 2位 五十嵐のどか
- ◎岩瀬支部中学校新人ロードレース大会  
1年男子5km 3位 橋本尚幸(18分21秒)
- ◎福島県Sリーグソフトテニス岩瀬ブロック予選会  
女子団体1部 3位 西袋中A  
女子団体2部 3位 西袋中C
- ◎福島県中学生新人バドミントン大会  
女子シングルス ベスト8 遊佐栞那 ※東北大会出場
- ◎福島県中学生「家族の健康」作文コンクール  
佳作 小山 莉奈(3年)
- ◎岩瀬地区書写コンクール  
協議会長賞 石塚 光(1年)  
推選 1年 川田 早姫 掛谷 憩奈  
樽川みずき  
2年 斉藤 大暉 小枝 友樹  
松浦 瑠那  
3年 樽川あずさ 佐々木 光  
柳沼 侖奈 三瓶 葵

## ☆☆☆こころの窓☆☆☆

理屈を理解することは大切なことです。しかし、それだけで何でもできるようになるとは限りません。実際には体験を通して身に付くことが多いものです。生徒の皆さんにとっては勉強も部活動もです。

### 体験の上に

ここに非常な水泳の名人がいるとする。そしてこの名人から、いかにすれば水泳が上達するかという講義を聞くとする。仮に3年間、休まず怠らず、微に入り細にわたって懇切に講義を受け、水泳の理を教えられ、泳ぎの心がけを聞かされる。それでめでたく卒業の許しを得たとする。だが果たして、それだけで実際に直ちに泳ぎができるであろうか。いかに成績優秀な生徒でも、それだけですぐさま水に放り込まれたらどうなるか。たちまちブクブク疑いなし。講義を聞くだけでは泳げないのである。やはり実際に、この身体を水につけねばならない。そして涙のこぼれるような不覚の水も飲まねばならない。時には、死ぬほどの思いもしなければならぬであろう。そうしてこそ水に浮けるし、泳ぎも身につく。体験の尊さはここにあるわけである。教えの手引きは、この体験の上に生かされて、はじめてその光を放つ。単に教えを聞くだけで、何事もなしうような錯覚をつつみたいと思う。